

2022年
9月20日
NO 41

全国OB会ニュース

日本貨物鉄道労働組合
全国OB会
発行人 藤原博之

生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう

2022全国高齢者集会開催

2022全国高齢者集会は、9月14日13時から東京・新宿文化センターにおいて、全国から500名の仲間が一堂に会して開催されました。

集会は、冒頭、暁鼓遊の皆さんによる迫力ある「創作和太鼓」が披露され、会場が盛りあがるなかでおこなわれました。

主催者を代表して、退職者連合の人見一夫会長の挨拶、連合を代表して、清水秀行事務局長の挨拶が行われました。来賓には、立憲民主党・逢坂誠二代表代行、国民民主党・玉木雄一郎代表、社民党・福島みずほ党首が参加し、それぞれ挨拶しました。

基調報告は野沢那智子事務局長で、ウクライナの問題を中心に(裏面掲載している内容)提起が行われました。

本集会のメインは、権丈善一慶応大学教授による講演「もっと気になる社会保障」と題した一時間にわたる講演でありました。このなかで権丈講師は、社会保障問題は財源を高額所得者に求めるだけではまったく足りず、どうしても万人の協力をえて課税対象を広げなければならないと訴えました。そして、医療保険・高齢者医療制度を介護保険の仕組みに近づけることや、子育て支援連帯基金の必要性が語られました。

最後は、俳優や歌手でおなじみの杉良太郎氏(警察庁特別防犯対策監、厚生労働省健康行政特別参与)が「特殊詐欺対策、健康対策に関して」と題した話を、20分間でエピソードを交えて語りました。



集会は、最後に「集会アピール」と人見会長の団結ガンバローで終了しました。

JR総連からは首都圏の三単組(東労組・東海労・貨物労組)が参加し、貨物からは要請された3名が参加しました。